

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 2 月 2 日 (2006.2.2)

【公開番号】特開 2005-292843 (P2005-292843A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-041
 【出願番号】特願 2005-115228 (P2005-115228)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 6/28 (2006.01)
G 0 1 M 11/00 (2006.01)
G 0 2 B 6/30 (2006.01)
G 0 2 B 6/42 (2006.01)
G 0 2 B 6/122 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B	6/28	P
G 0 1 M	11/00	R
G 0 2 B	6/30	
G 0 2 B	6/42	
G 0 2 B	6/12	D
G 0 2 B	6/12	B

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 9 日 (2005.12.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

接合部から少なくとも第一の光導波路と第二の光導波路の二つに分岐された光導波路部を有する光分岐結合器において、

前記第一の光導波路と前記第二の光導波路との間にクラッド層を有し、

前記第一の光導波路の端面と前記第二の光導波路の端面は、前記接合部の端面に合わせて結合され、

前記第一の光導波路及び前記第二の光導波路は射出形成で生成され、前記第一の光導波路の断面積が、前記接合部から分岐方向に向けて減少するテーパ形状をなしている光分岐結合器。

【請求項 2】

請求項 1 の光分岐結合器において、

前記第二の光導波路は反射面を有する光分岐結合器。

【請求項 3】

請求項 1 の光分岐結合部において、

前記接合部において、前記第二の光導波路の断面積が、前記第一の光導波路の断面積よりも小さい光分岐結合器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記の目的を達成するために、本発明は、接合部から少なくとも第一の光導波路と第二の光導波路の二つに分岐された光導波路部を有する光分岐結合器において、第一の光導波路と第二の光導波路との間にクラッド層を有し、第一の光導波路の端面と第二の光導波路の端面は、接合部の端面に合わせて結合され、第一の光導波路及び第二の光導波路は射出形成で生成され、第一の光導波路の断面積が、接合部から分岐方向に向けて減少するテーパ形状をなしている光分岐結合器の構成とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】